

令和3年11月10日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館ニューズレター

No. 284(2021年11月)

■【第10弾】クラウドファンディングプロジェクトが成立いたしました



9月7日より、クラウドファンディング「READYFOR」にて、当館へのご支援を募集しておりましたプロジェクト「【第10弾】歌舞伎や映画、フィルムがつかない記憶を遺す。」が、50日の募集期間を経て10月27日(水)に成立しました。おかげさまで、プロジェクト10年目となった本年は、282名の方より312万6千円のご支援をいただきました(※お一人で複数口ご支援下さった方がいらっしゃるの、プロジェクトページの支援者数表示284名とは異なります)。

お気持ちのこもったご支援を下さった皆様、温かい応援コメントを送って下さった皆様、SNSや様々なメディアで広めて下さった皆様、そしてチラシの配布にご協力下さった皆様、

当館の活動に寄り添って応援の声を寄せて下さった皆様、多くの方にご協力頂いたおかげで、本年もプロジェクトが成立いたしました。ご支援・ご協力下さいました全ての皆様に、心から感謝申し上げます。

本プロジェクトのご支援金は、令和3年度の図書館の運営資金及び、電動移動書架のモーター交換費と書庫内で保管する約90本の古い【映画フィルム】の保存状況を改善するための費用として使わせて頂きます。また、今回初めてネクストゴール(第二目標：350万円)を設定し、第一目標の250万円を超えて頂いたご支援につきましては、フィルムを低解像度でスキャンしてデジタルデータに変換し、映像の内容を確認するための資金とさせていただきます。

昨年に引き続き、本年も新型コロナウイルス感染拡大の影響により収益が激減し、運営が厳しい状況が続いておりますが、皆様にいただきましたご支援を支えに、職員一同、図書館事業のさらなる充実を目指して努力を重ねて参ります。一層のご支援・ご協力を、何卒お願い申し上げます。

くわしくは下記URLまたはQRコードよりプロジェクトページをご覧ください。

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan10>

公式Facebookでも情報発信しております

<https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>



目次:

【第10弾】クラウドファンディングプロジェクトが成立いたしました	1
第88回所蔵資料展示「篠田正浩監督生誕90年」展	2
閲覧室に組上燈籠『忠臣蔵討入組上五枚續』複製の組上完成形を展示しています	2
新着資料案内	3
新規登録資料案内	3
資料をご寄贈くださった方々	3
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	3
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
休館のお知らせ	4
利用案内	4

■第88回所蔵資料展示「篠田正浩監督生誕90年」展 展示期間：2021年10月28日～12月24日／於 閲覧室

本年は日本映画界を代表する巨匠、篠田正浩監督の生誕90年です。この節目となる年の7月、ユーロスペースで特集上映が開催され、42年振りに4Kデジタルリマスター版でよみがえった『夜叉ヶ池』の初日舞台挨拶に監督と主演の坂東玉三郎が登壇して映画ファンを喜ばせました。同時期にはカンヌ国際映画祭「クラシック部門」でも同作品が上映され話題となっています。また、当館の第10弾クラウドファンディングでも、『夜叉ヶ池』台本の表紙をリターンのひとつであるオリジナル文庫本カバーのデザインに採用し、映画台本作品リストに所蔵する篠田監督の作品計23作の台本をリストアップするなど、取り上げさせていただきました。

1931年3月9日岐阜県に生まれた篠田監督は、1949年早稲田大学に入学、競走部に入部し箱根駅伝の2区を走りますが怪我で選手生活を断念、中世・近世の日本演劇の研究に取り組みます。大学卒業後、1953年松竹大船撮影所に助監督として入社。自身のシナリオ『怒りの祭壇』を基にした『恋の片道切符』で1960年に監督デビューしました。このオリジナルシナリオは松竹大船撮影所監督助手会発行の『シナリオ集』8号に掲載されています。そして2作目の『乾いた湖』で同世代の大島渚や吉田喜重と共に注目され、伝統的な「松竹大船調」とは異なった斬新な作風から“松竹ヌーベル・バーグ”と呼ばれるようになります。1965年に松竹退社、1967年に表現社を設立、以来、黒子が登場するなど前衛的な手法を用いた『心中天網島』、河竹黙阿弥の歌舞伎『天衣紛上野初花』の映画化の『無頼漢』、“少年三部作”の『瀬戸内少年野球団』『少

年時代』『瀬戸内ムーンライト・セレナーデ』、近松門左衛門の浄瑠璃『鍵の権三重帷子』の映画化でベルリン国際映画祭銀熊賞受賞作の『鍵の権三』など多くの名作を発表しました。また、早くから特撮技術を積極的に使用したことで知られ、『夜叉ヶ池』『スパイ・ゾルゲ』などでその映像を見ることができます。2003年の『スパイ・ゾルゲ』で監督を引退した後は、日本演劇に関する著作を執筆、2010年第38回泉鏡花文学賞受賞作の『河原者ノススメ 死穢と修羅の記憶』(2009年)、『路上の義経』(2013年)などを発表しています。

今回は、スチール写真や監督が写る撮影スナップ、台本、プログラムや著作など、計20点の資料を展示します。

【展示資料一覧】

[スチール写真]『乾いた湖』1960年/『私たちの結婚』1962年/『涙を、獅子のたて髪に』1962年/『乾いた花』1964年/『暗殺』1964年/『桜の森の満開の下』1975年/『写楽』1995年 [撮影スナップ]『無頼漢』1970年/『瀬戸内少年野球団』1984年 [雑誌、スチール写真]『恋の片道切符』1960年 *『シナリオ集』8号(松竹大船撮影所監督助手会/1958年9月30日発行)/『心中天網島』1969年 *『アートシアター』68号(日本アート・シアター・ギルド/1969年5月24日発行) [台本、スチール写真]『夜叉ヶ池』1979年 [プログラム]『鍵の権三』1986年/『少年時代』1990年/『スパイ・ゾルゲ』2003年 [図書]『河原者ノススメ 死穢と修羅の記憶』(2009年幻戯書房発行)/『路上の義経』(2013年幻戯書房発行)

■第88回所蔵資料展示「篠田正浩監督生誕90年」展

展示期間：2021年10月28日(金)～12月24日(金)

展示場所：松竹大谷図書館 閲覧室

※開館日時につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。随時当館のHP、Facebookの投稿をご確認下さい。また、お電話でもご案内いたしますので、ご来館前にお問い合わせ下さい。

電話：03-5550-1694(平日:10時～17時)

■当館所蔵の篠田正浩監督作品台本■

上左より：『恋の片道切符』『乾いた湖』『夕陽に赤い俺の顔』『わが恋の旅路』『三味線とオートバイ』『私たちの結婚』『山の讃歌 燃ゆる若者たち』
中左より：『涙を、獅子のたて髪に』『乾いた花』『暗殺』『美しさと哀しみと』『異聞猿飛佐助』『あかね雲』『無頼漢』『桜の森の満開の下』
下左より：『夜叉ヶ池』『瀬戸内少年野球団』『鍵の権三』『少年時代』『写楽』『瀬戸内ムーンライト・セレナーデ』『梟の城』『スパイ・ゾルゲ』

カウンターでご請求いただければ閲覧可能です。
資料検索はこちら↓

<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>



■閲覧室に組上燈籠『忠臣蔵討入組上五枚續』複製の組上完成形を展示しています

11月の歌舞伎座「吉例顔見世大歌舞伎」にて「忠臣蔵」の演目『花鏡忠臣顔見勢』が上演されています。これに因み、11月中当館閲覧室に組上燈籠『忠臣蔵討入組上五枚續』複製の組上完成形を展示します。なお当館は、この組上燈籠絵のデザインのオリジナル文庫本カバーを販売しています。当館閲覧室または歌舞伎座場内でご購入頂けますので、ご観劇の記念にいかがでしょうか。[松竹歌舞伎屋本舗の通販](#)もご利用頂けます。

当館のデジタルアーカイブでも、組上燈籠『忠臣蔵討入組上五枚續』を見ることができます。右のURLにアクセスし、キーワードに「忠臣蔵討入」と入力し検索してください。



【松竹大谷図書館所蔵「組上燈籠絵」検索閲覧システム】

https://www.dh-jac.net/db/nishikie/search_shochiku.php

新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系10月演劇公演資料		○ … 受入済			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『天竺徳兵衛新噺 小平次外伝』	○			
	『俄獅子』				
	『天満宮菜種御供 時平の七笑』	○		○	○
	『太刀盗人』	○			
	『松竹梅湯島掛額』	○			
新橋演舞場	『六歌仙容彩 喜撰』	○			
	『小梅と一重 芝居茶屋「うた島」の場』	○	○	○	○
	『太夫さん』	○	○		
	『第97回くらま会』			○	
南座	『第96回東をどり』				
	『虎者 NINJAPAN 2021』			○	
松竹座	『GOEMON 石川五右衛門』	○		○	○
	『笑福亭松喬還暦独演会』				
御園座	『口上』	○			
	『壇浦兜軍記 阿古屋』	○		○	
	『石橋』				

◆他社演劇公演資料(8-10月) (順不同) アンカル『昼下がりの思春期たちは漂う狼のようだ』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/ハツビロコウ『夏の砂の上』下北沢「劇」小劇場プログラム/ワタナベエンターテインメントDiverse Theater『物理学者たち』本多劇場プログラム/コトリ会議『スーパーポチ』こまばアゴラ劇場プログラム/KAKUTA『或る、ノライヌ』すみだパークシアター倉プログラム/素浄瑠璃通し公演『出世景清』紀尾井小ホールプログラム/猫のホテル『ピンク』ザ・スズナリプログラム/singing dog『ユートピア』下北沢「劇」小劇場プログラム/Theater045syndicate『ヨコハマ・ヤタロウ望郷篇』神奈川芸術劇場大スタジオプログラム/結城座『壺坂霊験記』ザムザ阿佐谷プログラム/オペラシアターこんにゃく座『森は生きている』世田谷パブリックシアタープログラム/ペラシアターこんにゃく座『さよなら、ドン・キホーテ!』吉祥寺シアタープログラム/『ダブル・トラブル』よみうり大手町ホールプログラム/『検察側の証人』世田谷パブリックシアタープログラム/『キネマの天地』新国立劇場小劇場プログラム/『義太夫協会法人化50周年記念公演プログラム』紀尾井小ホールプログラム/『酔いどれ天使』明治座台本/『令和千本桜 義経と弁慶』明治座台本/『コロッケ』

ものまねオンステージ2021』明治座台本/『ODYSSEY2021』博品館劇場プログラム/『グロリー・デイズ』博品館劇場プログラム/『ドッグファイト』シアタークリエプログラム/文学座『熱海殺人事件』文学座アトリエ台本/『第一回児太郎の会』鏡仙会能楽研究所プログラム/『国立劇場第88回雅楽公演』国立劇場大劇場プログラム/『国立劇場10月歌舞伎公演』国立劇場大劇場プログラム/『第217回文楽公演』国立劇場小劇場プログラム/宝塚歌劇月組博多座公演『川霧の橋/Dream Chaser』博多座プログラム

◆映画資料 (順不同) 『アイの歌声を聴かせて』プログラム/『CUBE 一度入ったら、最後』ポスター、プログラム、台本

◆映画プログラム (順不同) 『メインストリーム』『キャッシュトラック』『かそけきサンカヨウ』『Our Friend アワー・フレンド』『夢のアンデス』『ビルド・ア・ガール』『DUNE デューン 砂の惑星』『そして、バトンは渡された』『ひらいて』『燃えよ剣』『G.I. ジョー: 漆黒のスネークアイズ』『DIVOC-12』『スターダスト』『キャンディマン』『007/ノー・タイム・トゥ・ダイ』『ハロウィン KILLS』『モーリタニアン 黒塗りの記録』『ヴィム・ヴェンダース レトロスペクティブ ROAD MOVIES/夢の涯てまでも』『映画 すみっこぐらし 青い月夜のまほうのこ』

◆演劇雑誌 (順不同) 『Confetti』2021年November/『JPL』No. 82/『KENSYO』Vol. 119, Vol. 122/『SePT倶楽部 information』2021年9月号, 10月号/『あぜくら』2021年10月号/『げき』23号/『ほうおう』2021年12月号/『テアトロ』2021年11月号/『ラ・アルプ』2021年11月号/『演劇映像』61号, 62号/『演劇界』2021年12月号/『喝采』2021年12月号/『義太夫』112号/『御園座演劇図書館Newsletter』Vol. 43/『国立演芸場公演ガイド』令和3年11月号/『神奈川芸術プレス』Vol. 158/『青年劇場通信』20号/『大向う』令和3年10月号, 11月号/『嶋之丞だより』59号, 2022年カレンダー/『日本芸術文化振興会ニュース』2021年11月号/『日本照明家協会誌』2021年10月号/『日本舞踊』73巻11月号/『悲劇喜劇』2021年11月号/『邦楽の友』令和3年9月-10月合併号

◆映画雑誌 (順不同) 『FLIX』2022年12月号/『NFAJニューズレター』14号/『NFAJプログラム』No. 31/『SCREEN』2021年12月号/『TVガイド』2021年10/15号, 10/22号, 10/29号, 11/5号/『おとなのデジタルTVナビ』2021年12月号/『キネマ旬報』2021年11月上旬特別号, 11月下旬号/『シナリオ』2021年12月号/『シナリオ教室』2021年11月号/『ドラマ』2021年11月号/『ピクトアップ』2021年12月号/『映画テレビ技術』2021年11月号/『映画撮影』No. 229/『映画時報』2021年10月号/『映画秘宝』2021年12月号/『日経エンタテインメント!』2021年11月号/『文化通信ジャーナル』2021年11月号

新規登録資料案内

(順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『天覧歌舞伎』『東京国際女性映画祭 全上映作品記録 映像が女性で輝くとき』『クリント・イーストウッド出演・監督作品鑑賞ガイド』『小津安二郎の特長的撮影技法に関する考察』『丹下左膳の最期 映画「新版大岡政談解決篇」に見られる舞台作の影響』『花柳章太郎作品展 舞台に映えた多趣多才』『東野英治郎経歴』『落語のラジオドラマ化 その構成と話法』『宮崎駿とジブリ美術館』『大河内山荘』『渋谷実巨匠にして異端』『年鑑代表シナリオ集'19』『優秀新人戯曲集2021』『浅草オペラ舞台芸術と娯楽の近代』『江戸歌舞伎長唄成立史』

『演劇の街』をつくった男 本多一夫と下北沢』『演劇に何ができるのか?』『照明家(あかりや)人生 劇団四季から世界へ』『ムーラン・ルージュ 新宿座 軽演劇の昭和と小史』『演劇は仕事になるのか? 演劇の経済的側面とその未来 改訂新版』『興行とパトロン (近代日本演劇の記憶と文化)』『演劇のジャポニスム (近代日本演劇の記憶と文化)』『商業演劇の光芒 (近代日本演劇の記憶と文化)』『幻影の「昭和芸能」舞台と映画の競演』

資料をご寄贈くださった方々

(敬称略・順不同/2021年8月-9月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、東京都江戸東京博物館、国立歴史民俗博物館、株式会社文学座、銀座 博品館劇場、国立劇場、キネマ旬報社、演劇出版社、文学座、独立行政法人日本芸術文化振興会 (国立劇場)、一般社団法人日本民間放送連盟、劇団青年座、真下花枝、樽松大剛、若林さだ吉、(株)近代映画社、明治学院大学図書館、神奈川県演劇連盟、神戸女子大学古典芸能研究センター、有限会社合同通信社、公益社団法人日本照明家協会、邦楽の友社、株式会社カモミール社テアトロ編集部、こまつ座、シアタークリエ、岩波ホール、おとなのデジタルTVナビ編集部、御園座演劇図書館、銀座百店会、東宝株式会社映像事業部、下野公久、帝国劇場、シナリオ・センター、劇団民藝、株式会社日本舞踊社、一般社団法人関西常磐津協会、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、愛知芸術文化センター、博多座、日本映画テレビプロデューサー協会、公益社団法人日本劇団協議会、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、株式会社オフィスタカヤ、丸善出版株式会社、劇団俳優座、国立映画アーカイブ、(株)岩波書店、公益社団法人日本演劇協会、劇団昴、公益財団法人日本近代文学館、博物館明治村

どうもありがとうございました

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）令和3[2021]年10月にご支援いただきました法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。

随時お電話でのご確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせて頂いております。

《現在のご利用について》（※2021年11月1日改定）

- 開館時間 10:00～17:00
- ご来館前日（※休館日を除く）までに、お電話でのご予約をお願い致します。
当日のご予約は、お席に空きがあった場合のみ承ります。
松竹大谷図書館 03（5550）1694（平日10時～17時）
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。

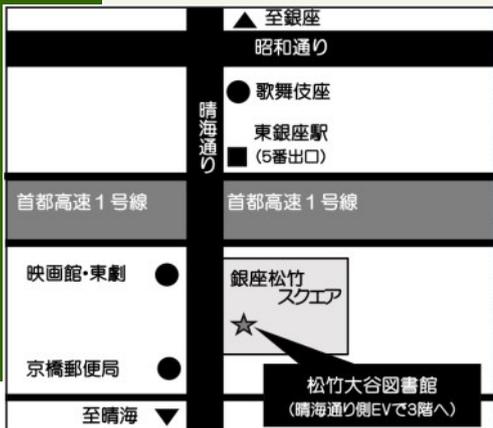
《ご予約について》

- ★10時から17時まで、1時間ごとに最大3時間までご予約頂けます。
- ★ご予約の際、お名前、人数、ご希望日時、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★ご同伴者はお一人までで、出来るだけお一人での来館をお願い致します。
- ★一日のご利用冊数は、18冊まででお願い致します。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/211101.html>

11月22日(月) 休館(創立記念日のため)
11月20日(土)より23日(火・祝日)まで 休館となります



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
- [入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行：公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>
公式Facebook● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>